

古楽実験工房 vol.1

ARTS for the future!

Experimental Workshop of Early Music

コンチエルトの夕べ in 京都



柴田 俊幸【フラウト・トラヴェルソ／アーティスティック・リーダー】

鳥生 真理絵【バロック・ヴァイオリン】

大橋 麗実【バロック・ヴァイオリン】

廣海 史帆【バロック・ヴィオラ】

島根 朋史【バロック・チェロ】

布施 砂丘彦【ヴィオローネ】

長谷川 太郎【バロック・ファゴット】

小暮 浩史【テオルボ】

中川 岳【チェンバロ】

小松 綾【フラウト・トラヴェルソ】*クヴァンツのみ

program

J.S.バッハ ブランデブルク協奏曲 第5番 ニ長調 BWV1050

J.S.バッハ 管弦楽組曲 第2番 口短調 BWV1067

C.P.E.バッハ フルート協奏曲 イ短調 Wq. 166, H. 431

J.J.クヴァンツ 2つのフルートのための協奏曲 ト短調 QV 6:8a

●チケット料金【全席自由】(当日各500円増)
一般:3,500円／学生:2,000円

●チケット取り扱い
teket
<https://teket.jp/1383/7740>

青山音楽記念館
TEL:075-393-0011

●お問い合わせ
(株)Locatell info@locatell.net

主催：吉田音楽企画 協力：株式会社 Locatell
後援：(一社)瀬戸内古楽協会



teket専用
QRコード

2021
12.8 [水]
19:00開演
(18:30開場)

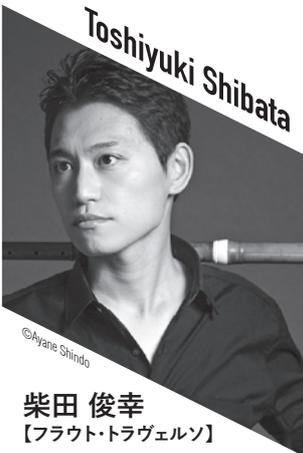
※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等は致しかねます。予めご了承ください。 ※感染症対策を鑑み、出演者へのプレゼント・差し入れ、終演後の面会はお控えくださいますようお願い申し上げます。 ※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。 ※本公演は定員の50%に達した時点で販売を停止し、政府方針を参考に追加販売の可否を決定する予定です。
【感染症対策に関するお願い】 ■詳しくはバロックザールのWEBサイトをご確認の上、ご来場ください。 ■館内では常時、不織布マスクの着用をお願い致します。 ■今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、やむを得ず公演を中止する場合がございます。予めご了承ください。

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

お問い合わせ
tel.075-393-0011
9:30~18:00 月・火休館
〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1
<https://barocksaal.com/>



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



Toshiyuki Shibata

柴田 俊幸
【フラウト・トラヴェルソ】

ベルギー在住のフルート奏者。ブリュッセル・フィルハーモニック、ベルギー室内管弦楽団などで研鑽を積んだ後、古楽の世界に転身。ラ・プティット・バンド、イル・フォンダメント、ウォクス・ルミニスなど古楽器アンサンブルに、ユトレヒト古楽祭、パッサ・アカデミー・ブルージュ音楽祭などにソリストとして参加。2019年には、B' Rock オーケストラの日本ツアーのソリストに抜擢された。これまで、アントワープの王立音楽院図書館、フランダース音楽研究所にて研究員として勤務。たかまつ国際古楽祭芸術監督。また「C.P.E.バッハ フルーツオナタ集」はレコード芸術にて「海外版CD 今月の特選盤」に選出、2022年には「J.S. バッハ:フルート作品集」をベルギーのFuga Liberaよりリリース予定。



Gaku Nakagawa

中川 岳
【チェンバロ】

1993年伊勢市生まれ。10代のときバロック音楽と古楽器への強い関心から独学でチェンバロ、クラヴィコードを始め、2014年東京大学在学中に第27回国際古楽コンクール<山梨>で鍵盤楽器部門第1位(チェンバロ)を受賞。審査員のグレン・ウィルソンより賞賛を得て、2016年夏より10ヶ月間、ヴェルツブルク音楽大学(ドイツ)にて同教授にチェンバロを師事した。留学中に録音し、2017年にナクソスよりリリースされたソロCD「テレマン / 6つの序曲集」は、『レコード芸術』準特選盤に選ばれた。2019年に東京大学教養学部を卒業。2018年9月より「J.S. バッハ / チェンバロ作品全曲演奏会」シリーズを行うほか、通奏低音奏者として活躍している。



Aya Komatsu

小松 綾
【フラウト・トラヴェルソ】

徳島県出身。高校卒業と同時に渡独し、フライブルク音楽大学、バーゼル州立音楽院ソリスト科を最優秀の成績で卒業。Philharmonie der Nationen 首席奏者(10~12)等オーケストラの研鑽を積みながら古学の勉強を始め、フランクフルト総合芸術大学古楽科にてトラヴェルソとリコーダーのマスターを取得。2016~18年、フライブルクバロックオーケストラに参加。リッド国際音楽コンクール第1位、クーラウ国際フルートコンクール第1位他入賞多数。川人伸二、中野富雄、R・エイトケン、F・レングリ、K・カイザー、M・シュナイダー各氏に師事。2019年に完全帰国し、現在大阪を拠点に活動中。



Hiroshi Kogure

小暮 浩史
【テオルボ】

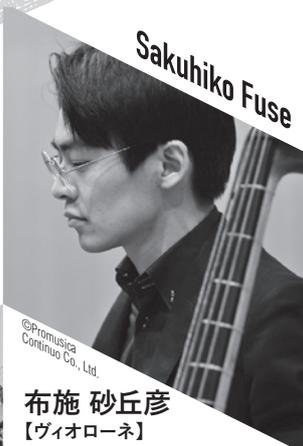
クラシックギター奏者として東京国際ギターコンクール、ヴェリア国際ギターコンクール(ギリシャ)にて優勝するなど、国内外で優秀な成績を収める。フランス、ストラスブル音楽院にて村村泰典氏にテオルボおよび通奏低音、マルタン・ジュステル氏に室内楽を師事。これまでマイスターミュージックより3枚のアルバムを発表しており、最新作の「リブラ・ソナチネ」ではクラシックギターのアルバムにテオルボを収録するなど、ジャンルを超えた幅広い活動を行っている。NHK-FM「リサイタル・ノヴェ」やインターネットラジオOTTAVA「6弦上のアリア」にゲスト出演するなど、その活躍はメディアでも多数取り上げられている。ギターを高田元太郎、福田進一各氏に師事。2016年度文化庁新進芸術家海外研修員。



Marie Toriu

鳥生 真理絵
【バロック・ヴァイオリン】

桐朋学園大学音楽学部、同大学院大学を卒業後、渡欧。ベルギー・フランダース政府からの奨学金を得て、ブリュッセル王立音楽院にてモダン及びヒストリカル・ヴァイオリンを学ぶ。2018年、同音楽院古楽器科修士課程を最優等賞付きで卒業。レ・ムファッティ、イル・ガルデリーノ、キュレンデといったベルギーの古楽アンサンブルの公演に定期的に参加し、演奏活動を行う。2021年11月より拠点を日本に選り、母国での活動を再開。これまでにモダン・ヴァイオリンを西藤美恵子、藤原浜雄、P. グラファン各氏に、バロック・ヴァイオリンを寺神戸亮、F. フェルナンデス、戸田薫各氏に師事。「AYAME アンサンブル・バロック」「デュオ・インヴェンツィオーネ」主宰。



Sakuhiko Fuse

布施 砂丘彦
【ヴィオローネ】

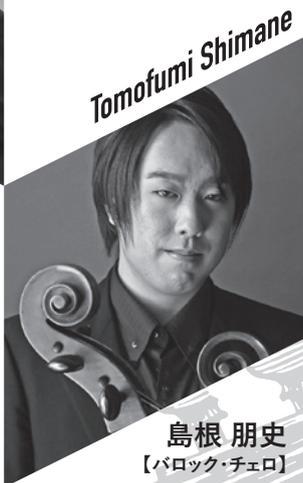
東京藝術大学音楽学部卒業、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。近年は、プロオーケストラへの首席客演、ビリオド楽器(ヴィオローネや歴史的コントラバス)の演奏、新曲の初演や実験音楽の演奏といった演奏活動だけでなく、執筆、コンサートやテレビ番組の企画制作など、多岐に渡る活動をしている。ビリオド楽器奏者としては、パッサ・コレギウム・ジャパンなどの公演に出演。時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論賞奨励賞受賞。日本音楽学会会員。「ミ夏エル・ハイドン・プロジェクト」主宰。オルケストル・アヴァン=ギャルド首席コントラバス奏者。



Reimi Ohashi

大橋 麗実
【バロック・ヴァイオリン】

奈良県出身。同志社女子大学を卒業後渡仏。ポワティエ大学大学院音楽学学科修了。同大学院と提携した、la Cité Musicale de l'Abbaye-aux-Dames de Saintesにて、古典派からロマン派の音楽の演奏習慣をヒストリカル楽器を使用して専門的に学ぶ。バロックヴァイオリンをサン・モール・デ・フォッセ地方音楽院にて学び最優秀の成績で修了。同音楽院最高課程を経てヴェルサイユ地方音楽院最高課程でも研鑽を積み、シャンゼリゼ管弦楽団のアカデミー、レ・フォル・フランスをはじめとする多数のオーケストラやアンサンブルグループでヨーロッパ各地にて演奏する。帰国後も演奏活動、後進の指導を精力的に行う。



Tomofumi Shimane

島根 朋史
【バロック・チェロ】

東京藝術大学にて博士号(音楽・チェロ)取得。研究内容はバロック時代からバートーヴェンの時代に至る弦楽器の奏法史。同声会賞、大学院アカンサス賞受賞。サティ音楽院(パリ)バロックチェロ科/ヴァイオリン・ダ・ガンバ科修了。東京とパリでリサイタルを開催し、好評を博す。古楽オーケストラLa Musica Collana サブディレクター・首席。同団メンバーとしてもNHKからクラシックに出演。演奏・解説を行った。パッサ・コレギウム・ジャパンをはじめ国内外アンサンブルのメンバー。ソロCD「Les Monologues」は新聞・雑誌5誌が推薦盤に選出。昭和音楽大学非常勤講師。日本弦楽指導者協会正会員。



Shiho Hiromi

廣海 史帆
【バロック・ヴィオラ】

東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学院修士課程古楽科を修了。これまでに、佐々木晶子、久合田緑、田中千香士、原田幸一郎、若松夏美、アレクサンドロ・モッチアの各氏に師事。第22回古楽コンクール(山梨)最高位、併せて栃木・蔵の街音楽祭賞を受賞。2007、08年、パリ・シャンゼリゼ管弦楽団より奨学金を受け、サント・ヨーロップ音楽アカデミーに参加。NHK-FM「名曲リサイタル」、旧奏楽堂デビューコンサート等に出演。また、パッサ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ、レ・ボレアード、横浜シンフォニエッタ等の公演・録音に多数参加する他、古楽、モダンを問わず様々な演奏活動をしている。



Taro Hasegawa

長谷川 太郎
【バロック・ファゴット】

東京藝術大学モダンファゴット科卒業。その後フランスへ留学。パリ国立地方音楽院古楽科を褒賞付き満場一致最優秀の評価を得て修了。バロックファゴットとドゥルツィアンの2つの演奏家ディプロマを取得。フランスではラジオ局やヴェルサイユ宮殿などでの録音の他、ジャン・テュベリ、シグスヴァルト・クイケン、ラファエル・ビション等著名な指揮者ののもとで演奏。フランスを代表する古楽グループEnsemble La Feniceの公演に度々参加する。第32回国際古楽コンクール(山梨)入選。これまでにモダンファゴットを宮永康史、水谷上総、岡崎耕治の各氏に、ヒストリカルファゴットを鈴木禎、堂阪清高、ジェレミー・パバセルジオの各氏に師事。

古楽
実験
工房

Experimental Workshop of Early Music

vol.1
コンチエルトの
タベ in 京都